

■視察活動②

●加東市の次世代施設園芸農業

国の補助金約20億円を受けて昨年8月に完成した「ひょうご次世代施設園芸モデル団地」(加西市鶉野町)を視察しました。温度や湿度、光、二酸化炭素などの栽培環境を自動制御する3.6ヘクタールの大規模ハウスで、農業先進国のオランダで発達したノウハウを生かしながら、トマトを栽培しています。さながらトマト工場といった感がありましたが、この方式を各地で水平展開するには、補助金なしでは投資に対してペイできないとお話でした。低コスト化、高付加価値化を実現すれば農業のイメージを激変させる施設園芸農業の可能性を感じました。



●県立リハビリテーション中央病院(神戸市西区)のロボットリハビリテーション
 先端のロボットを活用したリハビリの取組みを視察。ロボットスーツの導入に向けた研究や実証が行われており、脊椎損傷の方の歩行再建に向けたリハビリ手段として早く実用化されることを期待したいと思いました。また上肢切断の方に対して、最先端の義手である筋肉の信号で手を動かすことができる筋電義手をうたりリハビリでは、こどもさんがキー作りをしながら訓練をしており、将来日常生活に困らないレベルで指の機能を補完できるようになることからその重要性を認識しました。ロボットリハビリテーションの普及とともに、本人の費用負担の軽減策も含め今後しっかりと取り組んでいきたいと思ひます。



活動実績報告

(1) 迷惑防止条例の改正が実現!

地元の方から、日常生活でのトラブル等に起因するつきまといや監視、無言電話などの嫌がらせなどの迷惑行為によって悩まれている事例のご相談を何度かお受けすることがありました。これらに軽犯罪法を適用した場合、拘留、科料といった軽い罰則でしか取り締まることができなかつたり、たとえ迷惑性が高い場合でも指導や警告で対応するしかないようなケースがありました。ストーカー規制法では、恋愛感情に基づく迷惑行為は逮捕も含め厳格に取り締まることができますが、恋愛感情によるものでなければ同様な迷惑行為が厳格に取り締まれないことに疑問を抱いていたところ、他府県では条例を制定して規制をしていることを知り、昨年県警に対し条例改正を申し入れてきましたが、このたびその要望が実現し、迷惑防止条例が改正、7月1日から施行されました。

今回の改正によって、ストーカー規制法に準じた行為が迷惑防止条例の規制対象となり、県民生活の安全と平穏の維持に資するものと大いに期待しています。なお、あわせてスマホの普及で増加している盗撮について、規制対象の場所と行為を明確化する改正も行われています。これからも皆様の声をカタチにしていけるよう取り組んで参ります。



(2) 阪神高速湾岸線西神部の事業化が決定

阪神高速3号神戸線は全国一の慢性的な渋滞が発生する路線で、平行して走る大阪湾岸線を六甲アイランド→ポートアイランド→和田岬→長田へと延伸することは、渋滞の解消、神戸港の物流機能強化などの経済効果とともに、災害時の道路の多重性確保の意義もあり、神戸市・兵庫県としては長年の悲願でした。私も昨年の本会議で早期の事業化実現に向けた県の取組みについて質問するとともに、議連や、会派として国交大臣への整備の重要性を訴える等の要望活動を行ってききましたが、今年度、正式に事業採択され計画が具体的に進むことになりました。着工にむけた事業フレームの整理や、地元自治体、国における財源確保等、まだまだ大きな課題が残りますが、着実かつ早期に完成するように引き続き取り組んでいきます。



六甲アイランド～ポートアイランド～和田岬を橋で結びます。



石井国土交通大臣へ要望

(3) 多子世帯の保育料補助の拡充

人口減少社会となり、子育て環境を整備して、こどもを生み育てやすい環境を整備することの重要性が高まっています。また、人口の社会増の観点からは、自治体間で子育て環境の条件を競う側面もあります。兵庫県では、他府県ではあまり実施されていない多子世帯への保育料軽減事業を行っていましたが、公明党会派として更なる拡充により、子育て先進県として制度の充実を図るべきとの訴えを昨年の予算要望の最重点項目に掲げ、知事や県当局に申し入れをしてきましたが、今年度より所得制限と補助対象の拡大を実現することができました。神戸市では県の補助に上乗せした制度を実現し、2人目、3人目のこどもを育てる世帯のバックアップが強化されました。



兵庫県議会議員(神戸市長田区選出)・公明党県民会議

こしだ 浩矢 県政レポート Vol.10



〒653-0842 神戸市長田区水笠通3-1-1-1003 TEL & FAX. 078-754-6618 【メールアドレス】koshida168@gmail.com

活動レポート

警察常任委員会に所属し、委員長として活動します。

今年度は、警察常任委員長を拝命し、警察業務の調査・審査活動を行ってまいります。



幣原副委員長とともにサンテレビの「県議会レポート」のインタビューを受けました。(10/1(土)17:45~18:00に放映予定)

県議会の各常任委員会では、審査事項や現地調査等以外に、自主的な活動として研究テーマを設定し、年間を通して調査研究を行います。警察常任委員会では、山口組が分裂し2つの本部がともに兵庫県に存在し、抗争等が危惧されていることから今年度のテーマを「暴力団の壊滅に向けた対策」に設定し、取り組んでいきます。

■警察常任委員会での調査活動



香美町の奥佐津駐在所にて、駐在員の職務やご家族、地域の状況をヒヤリング。



110番、道路状況の情報を集約・処理する通信指令室と交通管制センターを調査。



高速道路交通警察隊にて、設備や危険な高速道路上での事故処理訓練を調査。



各地域の警察署を回り、現況の説明を受け、課題や改善点等を議論します。



香住海上保安署を訪問し、日本海における海上保安業務の説明受け、巡視艇に乗船。

会派(公明党県民会議)での取り組み

■地域政策要望会

公明党県議団で但馬、丹波、淡路地域を訪問し各市長、町長から、地域課題や要望を伺い意見交換を行いました。兵庫でも人口が少なく、交通の課題が多い地域性もあり、医師不足解消と道路整備が共通の要望事項でした。



■視察活動①

●地域医療活性化センター

人口が集中している阪神間に対して、地方部や中山間地域においては医師不足が深刻な問題となっています。そこで神戸大学と県が連携して設立した地域医療活性化センターでは、地域利用を担う医師を卒前から卒後に至るまで一貫した教育研修を行い、地域に派遣された医師が地方でも現地様々なサポートが受けられる設備や、先端医療の研修が受けられる環境が整備されています。



手術ロボットのダヴィンチは、毛筆で米粒に漢字を書くような細かい精度で、遠隔の手術が行えます。



CTスキャンやMRIの画像の正確な読影を、センターから遠隔でサポートしています。



患者ロボットは脈拍や心臓のデータが、病気の設定や施した治療に応じてシミュレーションできます。

臨時県議会・予算委員会での質問

本会議と予算委員会において、以下のような項目の質問を行いました。
質問と県当局の回答については、兵庫県議会のホームページ(<http://www.hyogokengikai.jp/index.html>)の会議録検索でご覧いただけます。

(1)本会議(臨時議会)での質問

国の補正予算を受け、28年度予算の編成前に、先行して実施する県の補正予算案に対する質疑

- ①保育職場環境の改善による保育人材の確保対策について
- ②介護人材の確保対策について
- ③児童養護施設退所者等に対する自立支援について
- ④“ひょうご五国+α”を活かしたツーリズムの展開について



(2)予算委員会での質問 平成28年度予算の審議にあたって、県の施策についての質疑

- ①地域創生戦略の効果的な事業展開について
- ②地域活動の担い手育成について
- ③新長田駅南地区への兵庫県・神戸市関係機関の共同移転について
- ④自助・共助の防災力向上に向けた取組について
- ⑤新規起業の促進とすそ野の拡大について
- ⑥商店街振興策のあり方について
(1)商店街振興策の成果と課題、来年度事業による狙いについて
(2)新長田への県市関係機関の移転に連動した施策について
- ⑦迷惑防止条例の改正について
- ⑧暴力団排除運動の強化と支援について
- ⑨高齢者が被害者となる特殊詐欺被害防止対策について
- ⑩新たな産業団地の整備について
(1)小野市における産業団地の開発について
(2)今後の産業団地の開発についての考え方について
- ⑪龍野高校の部活動事故の最高裁判決を受けての対応について
- ⑫いじめ問題の対応のあり方について
(1)いじめの早期発見・対応力向上施策の成果と課題について
(2)いじめ関連施策の検証について

質問ピックアップ

新長田駅南地区への兵庫県・神戸市関係機関の共同移転について

●こしだの質問要旨

新長田に新たにできる兵庫県、神戸市の合同庁舎は、県は神戸県民センター、神戸生活創造センター、県税事務所、住宅供給公社、神戸市は市税機能の集約、すまいまちづくり公社が移転してくる。県住・市住と税務関連の窓口が県市で一元化され利便性向上が期待される。まちのにぎわいの目玉は年間約10万人が利用する神戸生活創造センターの移転であり、阪神地域も含め、多様な人の交流の拠点となるのが期待される。今回の合同庁舎で新長田のまちのにぎわいや活性化に寄与する仕掛けをどう取り組んでいくか？
また、新庁舎ができるこ

●合同庁舎フロア図(予定)

階	神戸市	兵庫県
8F	神戸すまいまちづくり公社	
7F		住宅供給公社(神戸事務所)
6F		神戸県民センター(県民交流室・県税事務所)
5F		
4F	神戸市	
3F		市税
2F		
1F		神戸生活創造センター ※にぎわい創出の面からも、土日開庁によるセキュリティ面からも1階に配置

とで最寄りのJR新長田駅の乗降客が大幅に増加することが見込まれるが、JRに対して県市協調して快速の停車を働きかけるべきと考えるがどうか？

●五味企画県民部長の答弁

今回の移転によって、約1,000人規模の職員と年間約30万人規模の来所者が新長田に足を運ぶこととなる。相当のにぎわい創出が見込まれるが、併せてハード・ソフト両面から相乗効果を生み出すための検討が必要で、県・市の全ての移転機関で構成する検討会を立ち上げる。地元から、住民が気軽に立ち寄れるスペースを設けてほしいとの要望も聞いており、地元の意見も踏まえ庁舎の機能やフロア構成等の具体的な検討を進める。ソフト面では、県民センターで地元との協働によるにぎわいづくりに取り組み、神戸生活創造センターは学習や活動の拠点として地域の活性化に寄与できるよう、近隣の公共施設や商店街と連携した取組を検討する。

JR新長田駅への快速停車に向けては、かねてより神戸市がJRと協議を重

ねてきており、JRからはホーム延伸に多額の費用を要する等の課題を指摘されている。県としては協議状況を見守りながら、市とともにJRに働き掛けるなど、必要な協力を行っていく。

今後の課題

県と市の合同庁舎の移転は、新長田のみならず長田区の活性化の起爆剤となることを期待されます。地元の声をしっかり届けながら、長田にとって大きな転換点としていけるよう引き続き強力に推進して参ります。

質問ピックアップ

合同庁舎への移転と連動した商店街振興策について

●こしだの質問要旨

平成31年に新長田南地区へ県と神戸市の合同庁舎ができ関係機関の移転が予定されている。移転先は大正筋や六間道、丸五市場、本町筋、一番街といった商店街と隣接した立地となるが、新庁舎と地元の商店街振興策がまちのにぎわいづくりに連動するように、新たな視点での支援に取り組んでいただきたい。



●法田経営商業課長の答弁

丸五市場アジア横丁ナイト屋台に県内外各地からも多くの人が訪れたり、六間道商店街でも、子育て中の女性たちが連携して始めたカフェやカルチャー教室等を行うシェアショップが拡張しにぎわいを生んでいるが、県とし

ては、合同庁舎完成までにごういった新たなにぎわいを更に増やし、発展させていくことが重要と考えている。28年度は元気づくり事業による連続したにぎわい創出や新規出店・開業等支援事業に新たに設けた若者・女性チャレンジ枠の活用、事業承継セミナーの開催等による店舗承継等について、ひょうご産業活性化センターと連携しながら、積極的に展開していく。加えて、市街地再開発エリアについては、復興市街地再開発地域の空き床対策事業も創設した。神戸市と連携し、空き床対策も引き続き進める。合同庁舎建設の経済効果は、神戸市試算では185億円と見込まれている。この好機を個々の商店はもとより、商店街全体の振興につなげるよう、県市、関係機関、地元商店街と密接に連携しながら、全力で取り組んでいく。

今後の課題

合同庁舎の移転を契機とした「商店街振興」と「まちのにぎわいづくり」の施策の両面から連動して取り組むことが重要だと考えます。商店街の空き床の活用についても、商店街ビルの上層階などが開放してとるところもあり、県市の税務事務所が全部集まってくることから、税理士事務所などの進出を後押しするような支援も今後検討してもらいたいと考えます。

県政トピックス

兵庫県が議会改革ランキングで全国1位に!

2015年度「議会改革度調査」(早稲田大学マニフェスト研究会)で、兵庫県議会が全国の都道府県議会の中で1位となりました。野々村元県議の「号泣会見」をきっかけに、兵庫県議会として様々な議会改革に取組み、政務活動費の関係資料のインターネット公開や、各常任委員会の住民との意見交換や年間研究テーマを設定した取組みなどが評価されました。まだまだ改革の道半ばであり、信頼を取り戻すには更なる取組みを強力に推進していく必要がありますが、第3者機関から評価いただいたことを追い風に感じていきたいと思っております。

議会改革度調査2015 都道府県議会ランキング

都道府県議会順位	議会名	分野別順位			2014年度都道府県議会順位
		情報共有	住民参加	機能強化	
1	兵庫県議会	3	2	3	7
2	鳥取県議会	2	6	4	1
3	大阪府議会	1	11	2	17
4	三重県議会	5	10	1	2
5	京都府議会	4	4	6	3
6	宮城県議会	6	5	7	4
7	鹿児島県議会	24	1	17	6
8	滋賀県議会	26	3	11	10
9	岩手県議会	14	8	10	5
10	長野県議会	30	7	13	13

早稲田大学マニフェスト研究所

県立こども病院が移転・開院しました!



県立こども病院は、須磨区にあった旧病院が医療ニーズの変化や施設の老朽化、狭小化に伴い、診療機能や医療連携、施設の面で様々な課題が顕在化していたことから、ポートアイランドに移転・建替整備が行われ、今年5月1日に開院しました。

県内唯一の小児専門病院として、1次・2次医療機関では対応困難な高度専門・特殊医療や、ハイリスクの妊婦や胎児、新生児に対する高度専門医療を、更に小児救急医療センターとして、重症患者に対する小児3次救急医療を提供します。

院内は明るく、清潔感があふれ、子どもが安心して医療が受けられる素晴らしい病院が完成しました。隣には現在、小児がんに重点を置いた新粒子線治療施設が建設中で、健康な臓器や組織への影響を抑えながら、病巣部をピンポイントで攻撃できる治療が提供できるようになります。非常に医療費が高額となる小児がん粒子線治療は、これまで国に要望活動を行っていた保険適用が今年から実施されており、更にこども医療環境が整う予定です。